

預言者の声

シリーズ～預言者の声～

2022年 新年礼拝

元旦礼拝のおさらいクイズ

問) ペンテコステの日にペトロが引用した旧約聖書の書物は？

答) ヨエル書

問) ヨエル書が裁きの描写に使った生き物とは？

答) いなご

問) イスラエルに対する裁きと回復の後に起こるとヨエルが預言したこととは？

答) すべての人に(年齢・性別・立場に関係なく) 神の霊が注がれ預言者となる

アモス書3章3～8節

打ち合わせもしないのに
二人の者が共に行くだろうか。
獲物もないのに
獅子が森の中でほえるだろうか。
獲物を捕らえもせず
若獅子が穴の中から声をとどろかすだろうか。
餌が仕掛けられてもいないのに
鳥が地上に降りて来るだろうか。
獲物もかからないのに
罨が地面から跳ね上がるだろうか。

アモス書3章3～8節

町で角笛が吹き鳴らされたなら
人々はおののかないだろうか。

町に災いが起こったなら

それは主がなされたことではないか。

まことに、主なる神はその定められたことを
僕なる預言者に示さずには
何事もなされない。

獅子がほえる／誰が恐れずにいられよう。

主なる神が語られる

誰が預言せずにいられようか。

預言者アモスについて

• 農民だった！

- 「テコアの牧者の一人であったアモスの言葉」1:1

- テコアはエルサレムの南15kmほどの寒村

- 「わたしは預言者ではない。預言者の弟子でもない。わたしは家畜を飼い、いちじく桑を栽培する者だ。主は家畜の群れを追っているところから、わたしを取り、『行って、わが民イスラエルに預言せよ』と言われた。」7:14-15

• アモスが活動した時代

- 「ユダの王ウジヤとイスラエルの王ヨアシュの子ヤロブアムの時代」(前760—750年頃)

- ヤロブアムⅡは「レボ・ハマテからアラバの海(死海)までイスラエルの領土を回復した」(列王下14:25)

- 北王国は安定と繁栄の時代を謳歌していた

アモスのメッセージ

- 「三つの罪、四つの罪のゆえに」(1:3～2:16)
 - 周辺国：ダマスコ(シリア)・ガザ(ペリシテ)・ティルス・エドム・アンモン・モアブ
 - 南ユダ王国・北イスラエル王国
- 5つの幻(7:1～9:6)
 - いなご・火事・下げ振り・夏の果物(カイツ>ケーツ [最後])・祭壇の傍らに立つ主
- 豊かさの生む罪
 - 贅沢：「お前たちは象牙の寝台に横たわり／長いすに寝そべり／羊の群れから小羊を取り／牛舎から子牛を取って宴を開き…」6:4
 - 不正・弱者：「わたしは決して赦さない。彼らが正しい者を金で／貧しい者を靴一足の値で売ったからだ。彼らは弱い者の頭を地の塵に踏みつけ／悩む者の道を曲げている。」2:6-7

祭司アマツヤとのやりとり

ベテルの祭司アマツヤは、イスラエルの王ヤロブアムに人を遣わして言った。「イスラエルの家の真ん中で、アモスがあなたに背きました。この国は彼のすべての言葉に耐えられません。アモスはこう言っています。『ヤロブアムは剣で殺される。イスラエルは、必ず捕らえられて／その土地から連れ去られる。』」アマツヤはアモスに言った。「先見者よ、行け。ユダの国へ逃れ、そこで糧を得よ。そこで預言するがよい。だが、ベテルでは二度と預言するな。ここは王の聖所、王国の神殿だから。」

アモスは答えてアマツヤに言った。「わたしは預言者ではない。預言者の弟子でもない。わたしは家畜を飼い、いちじく桑を栽培する者だ。主は家畜の群れを追っているところから、わたしを取り、『行って、わが民イスラエルに預言せよ』と言われた。今、主の言葉を聞け。あなたは、『イスラエルに向かって預言するな、イサクの家に向かってたわごとを言うな』と言う。それゆえ、主はこう言われる。お前の妻は町の中で遊女となり／息子、娘らは剣に倒れ／土地は測り縄で分けられ／お前は汚れた土地で死ぬ。イスラエルは、必ず捕らえられて／その土地から連れ去られる。」

(7:10~17)

イスラエルとユダの王国

B.C. 925~842頃

Copyright by C. S. HAMMOND & CO., N. Y.

0 5 10 20 30 40 マイル
0 10 20 30 40 50 60 km

流れる川 → 首都
よって流れる川 → エジプトおよびシリアの攻撃

ツァレファラ
ダン

大海 (地中海)
サマリヤ

要塞首都サマリヤは、
B.C. 870
って建て

ベテル

エルサレム

テコア

南ユダ王国

北イスラエル王国



アラムはイス
ほとんど絶え
とんだ。アハ
の戦いで死ぬ
ヤ人は彼に降

アハ
らされ
エルに暴動を引き起し、ついにオムリ
の全家が一掃されるに至った。

エジプトのメロ・シヤクは分裂
した王国を統一し、B.C. 925頃エ
ルサレムを略奪した。

ヨシヤ王の治世中、ユダは
エドムに対する支配権を再び
得た。

クムリ王朝下のモアブは
エドムとして統治された。ディ
の記念石柱は、モアブ王
がイスラエルに勝利を収
メ、アブ人の独立を回復したこ
を伝えている。

キル・モアブ
(キル・ハレセテ)

おせっかい預言者

- ベテルでの預言
 - ベテルは分裂時に「金の子牛」が置かれた所
 - アモスはわざわざ隣国まで預言しに行った！
 - 困った祭司アマツヤ
 - アモスの預言を王に伝える
 - ここはおまえの来るところではない。帰ってくれ！
 - アモスの反論
 - 自分は農民で(公認の)預言者ではない
 - しかし、主が「行って、わが民イスラエルに預言せよ」命じられたので来た！
 - 「イスラエルは、必ず捕らえられて／その土地から連れ去られる。」
- 722年に成就する

原因と結果(3:3~8)

• 当然の出来事

- 打ち合わせをしてから>二人の者が共に行く
- 獲物がいるから>獅子が吠える
- 餌が仕掛けられているから>鳥が降りてくる
- 獲物がかかったから>罾が跳ね上がる
- 主がなされたから>町に災いが起こる

• 主は必ず預言者に示される

- 「まことに、主なる神はその定められたことを僕なる預言者に示さずには何事もなされない。」

• 預言せずにはいられない

- 獅子がほえる／誰が恐れずにいられよう。
- 主なる神が語られる／誰が預言せずにはいられようか。

アモスに学ぶ

- 預言者の目
 - 広い視野で世界を見る
 - 神様の目線で判断する
- 預言者の足
 - 主が遣わされるならどこへでも行く
 - 臆せず誰とでも向かい合う
- 預言者の声
 - 主の言葉であればどんな状況でも語る
 - 主の言葉であればどんなことでも語る

獅子がほえる

誰が恐れずにいられよう。

主なる神が語られる

誰が預言せずにいられようか。